

労働市場の概要（令和2年7月）

岡山労働局 職業安定課
TEL 086-801-5103

雇用情勢

令和2年7月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.44 倍となり、前月と比べ 0.06 ポイント低下した。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)は 0.7%増加し、有効求職者数(季節調整値)は 5.3%増加した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、宿泊業・飲食サービス業(4.0%増)で増加したものの、建設業(4.0%減)、製造業(45.1%減)、運輸業・郵便業(30.7%減)、卸売・小売業(35.5%減)、医療・福祉(18.4%減)、サービス業(他に分類されないもの)(38.4%減)で減少したことから、全体では対前年同月比で 25.5%減となり、9ヶ月連続で減少した。

新規求職者数(原数値)は、対前年同月比で 4.5%減となり、2ヶ月ぶりに減少した。

1 有効求人倍率(季節調整値)

7月の有効求人倍率は 1.44 倍となり、前月に比べ 0.06 ポイント低下。

(1) 有効求人(パートを含む)

○ 7月の有効求人は 39,541 人で、対前年同月比(原数値比較)で 27.3%減少し、対前月比(季節調整値比較)では 0.7%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で 12ヶ月連続の減少となった。

(2) 有効求職(パートを含む)

○ 7月の有効求職は 28,585 人で、対前年同月比(原数値比較)で 0.9%増加し、対前月比(季節調整値比較)では 5.3%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で 12ヶ月ぶりの増加となった。

(3) 7月の正社員の有効求人倍率は 1.07 倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

7月の新規求人倍率は 2.15 倍となり、前月に比べ 0.03 ポイント低下。

(1) 新規求人(パートを含む)

○ 7月の新規求人は 14,451 人で、対前年同月比(原数値比較)で 25.5%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で 9ヶ月連続の減少となった。

○ **産業別新規求人状況**(対前年同月比)は、

建設業	4.0%の減少	(2ヶ月ぶりの減少)
製造業	45.1%の減少	(14ヶ月連続の減少)
運輸業・郵便業	30.7%の減少	(4ヶ月連続の減少)
卸売・小売業	35.5%の減少	(4ヶ月連続の減少)
宿泊業・飲食サービス業	4.0%の増加	(3ヶ月ぶりの増加)
医療・福祉	18.4%の減少	(7ヶ月連続の減少)
サービス業	38.4%の減少	(9ヶ月連続の減少)

(他に分類されないもの)

(2) 新規求職(パートを含む)

○ 7月の新規求職は 6,461 人で、対前年同月比(原数値比較)で 4.5%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で 2ヶ月ぶりの減少となった。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は 609,756 人で対前年同月比 0.7%の増加となり、127ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は 7,116 人で、対前年同月比 9.5%の減少となり、受給率は 1.2% となった。